

第4章 教育・文化・スポーツ 第6節 スポーツ振興

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			環境影響	
			会計	投入コスト(千円)		活動実績(H28)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	有益なもの	有害なもの	
スポーツ振興課	実施計画ランク	事業の種類	一般	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		S	市民の余暇の拡大、健康増進に寄与することを目的としていることから、施設稼働率を指標とする。目標値としては、前年より増やすことを目標とする。	H28年度に改善した点	無	無	
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加		5,782	5,782	①利用者数	学校開放運営委員会による組織開放率 (組織開放校÷市内小・中学校数)×100	目標設定の考え方・根拠							
	学校体育施設管理委託事業	根拠法令		H28予算現額	H28決算額(見込み)	②		H27年度目標	H27実績						H28目標値が未達成の理由・分析
		スポーツ基本法、社会教育法		5,761	5,721	③									
		事業の目的及び具体的な内容		H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合 非常勤特別職	0人	H28年度目標								
	期間	昭和48年度～		各地区学校開放運営委員会が委託契約に基づき、学校体育施設を市民に開放するため、利用者の調整や手続きなどの管理運営を行っている。また、利用者が安全かつ快適に利用できるよう開放時における施設設備の保全、利用者に対する使用の指導助言や施設、設備の使用許可なども行っている。	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合 非常勤特別職	0人	H29年度目標							目標達成済
					4,070千円	0人	①479,909人	H28年度目標	H28実績						
					H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合 非常勤特別職	0人	②	H29年度目標						
	9,004千円	0人		③	H29年度目標										
	スポーツ振興課	実施計画ランク		事業の種類	一般	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名						目標設定の考え方・根拠
重要		■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	124,534	123,060		①施設利用件数	施設稼働率(利用件数÷利用可能件数×100)	目標設定の考え方・根拠							
屋外体育施設管理運営事業		根拠法令	H28予算現額	H28決算額(見込み)		②施設利用人数		H27年度目標	H27実績	H28目標値が未達成の理由・分析					
		スポーツ基本法、所沢市体育施設設置及び管理条例、所沢市都市公園条例・同施行規則	124,334	122,194		③施設使用料収入									
		事業の目的及び具体的な内容	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合 非常勤特別職		0人	H28年度目標				H28実績				
期間		昭和45年度～	屋外体育施設をスポーツ、レクリエーションの場としての利用に供し、広く利用者の余暇活動、健康増進に寄与することを目的とする。 ・施設の利用については、公共施設予約システムによる登録・利用申込みをし、利用する。 ・利用者が安全かつ快適に利用できるよう施設の整備、維持管理を行う。(グラウンド整備、受付業務、施設修繕、事業用物品の購入、点検、施設用地購入、改修工事等)	H28正規職員人件費		H28その他職員従事割合 非常勤特別職	0人	H29年度目標		平成28年度目標値には到達しなかったものの、平成27年度実績を維持することができた。目標未達成は屋外施設が天候に左右されるためと考える。					
				2,600人		3人	①29,211件	H28年度目標	H28実績						
				H28正規職員人件費		H28その他職員従事割合 非常勤特別職	0人	②283,589人	H29年度目標						
22,516千円		3人	③22,499,510円	H29年度目標											
2,770人		3人													
23,753千円	3人														
スポーツ振興課	実施計画ランク	事業の種類	一般	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		S	市民の余暇の拡大、健康増進に寄与することを目的としていることから、施設稼働率を指標とする。目標値としては、前年より増やすことを目標とする。	H28年度に改善した点	無	有	
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加		209,707	193,682	①施設利用件数	施設稼働率(利用件数÷利用可能件数×100)	目標設定の考え方・根拠							
	屋内体育施設管理運営事業	根拠法令		H28予算現額	H28決算額(見込み)	②施設利用人数		H27年度目標	H27実績						H28目標値が未達成の理由・分析
		スポーツ基本法、所沢市体育施設設置及び管理条例		205,751	189,565	③施設使用料収入									
		事業の目的及び具体的な内容		H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合 非常勤特別職	0人	H28年度目標								
	期間	昭和51年度～		屋内体育施設をスポーツ、レクリエーションの場としての利用に供し、広く利用者の余暇活動、健康増進に寄与することを目的とする。 ・施設の利用については、公共施設予約システムによる登録・利用申込みをし、利用する。 ・利用者が安全かつ快適に利用できるよう施設の整備、維持管理を行う。(受付業務、施設修繕、事業用物品の購入、点検、施設用地購入、改修工事等)	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合 非常勤特別職	0人	H29年度目標							目標達成済
					1,360人	6人	①101,373件	H28年度目標	H28実績						
					H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合 非常勤特別職	0人	②565,293人	H29年度目標						
	11,778千円	6人		③95,943,450円	H29年度目標										
	0,660人	6人													
5,660千円	6人														
スポーツ振興課	実施計画ランク	事業の種類	一般	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		C	市民の余暇の拡大、健康増進に寄与することを目的としていることから、1日あたりの利用者数を指標とする。目標値としては、前年より増やすことを目標とする。	H28年度に改善した点	無	有	
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加		38,143	35,743	①年間利用者数	1日あたりの利用者数(年間利用者数÷開催日数)	目標設定の考え方・根拠							
	市民プール管理運営事業	根拠法令		H28予算現額	H28決算額(見込み)	②年間使用料収入		H27年度目標	H27実績						H28目標値が未達成の理由・分析
		スポーツ基本法、所沢市都市公園条例・同規則		38,477	37,769	③									
		事業の目的及び具体的な内容		H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合 非常勤特別職	0人	H28年度目標								
	期間	昭和47年度～		北野公園に市民プールを設置し、開設期間である7月中旬から8月31日まで運営。夏季におけるスポーツ、レクリエーションの場としての利用に供し、広く利用者の余暇活動、健康増進に寄与する。 ・開設中の運営は、民間業者に委託 ・清掃・受付業務・事業用備品の購入、点検等	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合 非常勤特別職	0人	H29年度目標							平成28年度は天候不順により、利用者数の減少傾向が見られた。特に8月下旬については、気温の低下とともに利用者数が減少した。
					0,400人	0人	①27,917人	H28年度目標	H28実績						
					H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合 非常勤特別職	0人	②6,498,170円	H29年度目標						
	3,464千円	0人		③	H29年度目標										
	0,560人	0人													
4,802千円	0人														

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			環境影響	
			会計	投入コスト(千円)		活動実績(H28)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	有益なもの	有害なもの	
スポーツ振興課	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		S	体育施設は年々老朽化が著しく進んでいることから、安全かつ快適な施設運営のためにも、引き続き施設の修繕、改修に努めていきたい。	H28年度に改善した点	無	有		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	11,200	11,180	①体育施設整備費執行額(修繕)	整備施設の整備率(予算執行額÷予算額×100)	施設の修繕、整備を目標とし、年々進む老朽化に対応しながら、安全かつ快適な施設運営を行っていく。								
	根拠法令	スポーツ基本法、所沢市体育施設設置及び管理条例	H28予算現額	H28決算額(見込み)	②体育施設整備費執行額(工事)		H27年度目標	H27実績			H28目標値が未達成の理由・分析				
	事業の目的及び具体的な内容	市民の健康増進に寄与し、余暇活動の充実を図るため、利用者が安全かつ快適に利用できるよう体育施設の整備を行う。 ①所沢市公共施設等管理計画の内容に沿った整備を検討する。②所沢市公共建築物修繕計画に基づく改修工事を行う。③緊急性の高いものについては、随時、修繕を実施する。④新たなスポーツ施設の整備を検討する。	9,935	9,515	③	H28年度目標	H28実績	目標達成済							
	期間	昭和47年度～	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合 非常勤特別職	実績	H29年度目標	H29実績								
			7,881千円	0人	①6,490,928円	100%	100%								
			H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合 非常勤特別職	②3,024,000円	100%	100%								
		4,373千円	0人	③											
スポーツ振興課	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		S	埼玉県が平成29年度から人工芝化の工事を行う予定である。所沢市として、事業費の1/3を寄付することから、要望を取り入れてもらうように今後も協議を継続する。	H28年度に改善した点	無	無		
	重要	□ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	0	0	①埼玉県との打合せ回数	埼玉県との協議内容と工事予定内容	所沢航空記念公園運動場の人工芝化工事は埼玉県が実施するため、埼玉県による事業計画(工事予定内容等)の進捗を目標とした。								
	根拠法令	スポーツ基本法	H28予算現額	H28決算額(見込み)	②		H27年度目標	H27実績			H28目標値が未達成の理由・分析				
	事業の目的及び具体的な内容	埼玉県が管理する所沢航空記念公園内の運動場について、多目的人工芝運動場として整備し、サッカー等のスポーツ施設として活用できるよう埼玉県と協議を進める。 改修工事を実施するにあたり、その費用の概ね1/3を埼玉県に寄付をする。なお、人工芝の多目的運動場として整備することにより、市民の利用機会の増大を図る。	0	0	③	H28年度目標	H28実績	目標達成済							
	期間	平成18年度～	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合 非常勤特別職	実績	H29年度目標	H29実績								
			0.15人	0人	①3回	県による設計業務の予算化	県による設計業務の予算化								
			1,299千円	0人	②	県による設計業務の実施	県による設計業務の実施								
		H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合 非常勤特別職	③	県による人工芝・防球ネット工事										
		0.46人	0人												
		3,945千円	0人												
スポーツ振興課	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		S	スポーツを楽しむ機会の提供のため、スポーツ振興課の主催事業教室の他に、各地区体育館の教室の広報を行っている。 自治会館サークル等への指導者の確保、育成、またその質の向上を図って行きたい。	H28年度に改善した点	無	有		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	214	122	①参加者募集人数	教室参加者数	地域社会への参加や自らの意思によって学習意欲や探求心を維持し、良き趣味を持ち、生きがいのある日々を過ごすことができるよう運動を通して健康・体力づくりを行うことが必要であることから、参加者数を目標とした。								
	根拠法令	スポーツ基本法	H28予算現額	H28決算額(見込み)	②教室参加者数		H27年度目標	H27実績			H28目標値が未達成の理由・分析				
	事業の目的及び具体的な内容	主催事業教室の計画を立て年度初めに年間事業予定表「スポーツ所沢」を市民体育館、各まちづくりセンター、コミュニティーセンター等に配付する。随時日程に合わせて生涯学習情報紙にて募集を行う。運動を通し健康維持を図ると共にスポーツニーズに応え、生涯を通してスポーツに親しみきっかけをつくる。	186	76	③教室開催数	H28年度目標	H28実績	目標達成済							
	期間	昭和52年度～	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合 非常勤特別職	実績	H29年度目標	H29実績								
			0.29人	0人	①760人	760人	1,006人								
			2,511千円	0人	②934人	760人	934人								
		H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合 非常勤特別職	③103回	710人										
		0.42人	0人												
		3,602千円	0人												
スポーツ振興課	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	今後も、市の冬の風物詩として定着している市民マラソンを通じて、各世代のスポーツに対する意識の醸成や市のPRを積極的に行っていく。	H28年度に改善した点	無	有		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	8,000	8,000	①申込者数	参加者増加率 (今大会参加者数÷前大会参加者数×100)	前年大会参加者から今大会参加者がどれだけ増加したかをパーセンテージで算出。 前回大会からの参加者の増加を視覚的に示した目標。								
	根拠法令	スポーツ基本法	H28予算現額	H28決算額(見込み)	②出走者数		H27年度目標	H27実績			H28目標値が未達成の理由・分析				
	事業の目的及び具体的な内容	所沢市のメインイベントとして市のPRとともに、市民の健康づくりや人とのふれあいの場を提供し誰でも参加できることから、生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を図る。 選手を公募し、当課が事務局となり、各種スポーツ団体から選出された役員他で構成された実行委員会を組織し、ハーフの部を含む5部門を実施。	8,000	8,000	③会議開催回数	H28年度目標	H28実績	目標達成済							
	期間	平成2年度～	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合 非常勤特別職	実績	H29年度目標	H29実績								
			2.43人	0人	①7,282人	100%	96%								
			21,044千円	0人	②6,270人	100%	95%								
		H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合 非常勤特別職	③12回											
		2.96人	0人												
		25,382千円	0人												

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			環境影響	
			会計	投入コスト(千円)		活動実績(H28)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	有益なもの	有害なもの	
スポーツ振興課	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		S	陸上競技選手権大会も17回を実施しており、陸上競技大会として定着している。また、ここ数年の延べ参加人数は、安定して定員の1,000人を上回っている。	H28年度に改善した点	無	有		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	850	850	①参加者数	定員達成率 (本年度延べ参加者数/定員1,000人×100)	定員の1,000人に対して大会の延べ参加人数が上回るようにすることを目標としている。								
	根拠法令	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	H28予算現額	H28決算額(見込み)	②		H27年度目標	H27実績			H28目標値が未達成の理由・分析				
	所沢市陸上競技選手権大会実行委員会交付金交付要綱	850	850	③	100%		152%	大会の開催期日を決める際には、参加や協力が影響が大きい中体連と調整する必要がある。							
	陸上競技選手権大会支援事業	事業の目的及び具体的な内容	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	実績	H28年度目標	H28実績								
	期間	所沢市体育協会・市内高等学校陸上競技部教諭・市中学校体育連盟陸上競技専門部・市小学校体育連盟・早稲田大学競走部等で陸上競技選手権大会実行委員会を組織し、埼玉陸上競技協会の共催により、日本陸連の公認記録大会(高校以上は陸連登録者のみ公認記録となる)として実施している。	1.04人	0人	①1,421人	100%	142%								
	平成12年度～		9,006千円	0人	②	H29年度目標									
		H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	③	100%										
		1.09人	0人												
		9,347千円	0人												
スポーツ振興課	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		S	所沢市民の健康と体力向上のため、その実践活動の促進と関係団体相互の連絡調整を行っている。市全体のスポーツ大会をはじめ、各支部で運動会や各種スポーツ大会及び講習会などを実施している。	H28年度に改善した点	無	無		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	2,700	2,700	①大会参加者数	大会参加者数維持率 (参加者数÷前年度参加者数×100)	体力づくり事業として実施している各種スポーツ大会の参加者数を増やしていく。								
	根拠法令	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	H28予算現額	H28決算額(見込み)	②		H27年度目標	H27実績			H28目標値が未達成の理由・分析				
	スポーツ基本法、体力づくり市民会議交付金交付要綱	2,700	2,700	③	100%		74%	幅広く市民がスポーツに親しむことができるように、スポーツに関心のない市民も参加したくなる種目や内容に改めるなど充実させる必要がある。							
	体力づくり市民会議交付金	事業の目的及び具体的な内容	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	実績	H28年度目標	H28実績								
	期間	「体力づくり市民会議」は、スポーツ・レクリエーション大会や各種教室の実施を通じて、ゆとりある市民生活や体力の向上発展に寄与している。また、各支部への支援を行なうことにより市民の生涯スポーツへの機会の提供を行う。この組織の活動を支援することを目的としている。	0.19人	0人	①2,183人	100%	107%								
	昭和47年度～		1,645千円	0人	②	H29年度目標									
		H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	③	1										
		0.19人	0人												
		1,629千円	0人												
スポーツ振興課	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		S	児童数は減少傾向にあるものの、スポーツ少年団の登録団員数は前年度並みに確保している。	H28年度に改善した点	無	無		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	1,110	1,110	①登録団員数	団員数の維持率 (今年度団員数÷前年度団員数×100)	少子化傾向にあるものの、スポーツ少年団の周知や魅力を高め、団員数を維持していくもの。								
	根拠法令	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	H28予算現額	H28決算額(見込み)	②登録団体		H27年度目標	H27実績			H28目標値が未達成の理由・分析				
	スポーツ基本法、スポーツ少年団補助金交付要綱	1,110	1,110	③	100%		93%	インターネットやSNSなど活用して、スポーツ少年団の周知を行って、団員数の数を確保していく。							
	スポーツ少年団補助金	事業の目的及び具体的な内容	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	実績	H28年度目標	H28実績								
	期間	スポーツを愛好する青少年がスポーツを通じ心身の健全な育成及び鍛錬することを目的に結成した単位スポーツ少年団を、育成・支援するために「所沢市スポーツ少年団」が結成された。この組織が行う事業と組織の充実を図るために、交付金の交付を開始した。	0.53人	0人	①2,029人	100%	100%								
	昭和48年度～		4,590千円	0人	②72団体	H29年度目標									
		H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	③	100%										
		0.34人	0人												
		2,916千円	0人												
スポーツ振興課	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	市民がスポーツに参加する機会を確保するため、所沢市体育協会加盟団体の全てが市民を対象とした講習や大会を開催するように促していく。	H28年度に改善した点	無	無		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	3,000	3,000	①加盟団体数	市民を対象とした講習や大会を実施した加盟団体数 (市民対象事業実施団員数÷加盟団員数×100)	市民がスポーツに参加する機会を確保するため、所沢市体育協会加盟団体の全てが市民を対象とした講習や大会を開催するように促していく。								
	根拠法令	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	H28予算現額	H28決算額(見込み)	②競技団体登録数		H27年度目標	H27実績			H28目標値が未達成の理由・分析				
	スポーツ基本法、体育協会補助金交付要綱	3,000	3,000	③	100%		70%	屋外競技では事業の実施が天候に左右され、実施できなかった団体があったため。							
	体育協会補助金	事業の目的及び具体的な内容	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	実績	H28年度目標	H28実績								
	期間	所沢市におけるスポーツを振興し、市民の体力向上とスポーツ精神の高揚をはかり、もって市民生活の向上発展を目的に設立された当協会に交付金を交付することにより、この協会設立目的達成を支援する。	0.33人	0人	①37団体	100%	84%								
	昭和29年度～		2,858千円	0人	②24団体	H29年度目標									
		H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	③	100%										
		0.25人	0人												
		2,144千円	0人												

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			環境影響	
			会計	投入コスト(千円)		活動実績(H28)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	有益なもの	有害なもの	
スポーツ振興課	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	市民にレクリエーション活動の普及のため、毎年2月にレクリエーション協会加盟団体の全てが市民を対象とした講習や大会を開催するように促していく。	H28年度に改善した点	無	無		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	600	600	①会員数	市民を対象とした講習や大会を実施した加盟団体数 (市民対象事業実施団員数÷加盟団員数×100)									
	レクリエーション協会補助金	根拠法令	H28予算現額	H28決算額(見込み)	②加盟団体数										
		スポーツ基本法、所沢市レクリエーション協会補助金交付要綱	600	600	③										
		事業の目的及び具体的な内容	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	実績	H27年度目標	H27実績	H28目標値が未達成の理由・分析							
		レクリエーションを原動力として、市民と共に地域の活性化を図る活動を繰り広げていくため設置され、当該団体の活動を支援するために補助を開始した。近年少子高齢社会が進んでいる中、レクリエーションを通じて、市民の健康増進を図るとともに関係団体相互の親睦を密にし、レクリエーション運動の推進を図る。	0.48人	0人	100%	85%	屋外競技では事業の実施が天候に左右され、実施できなかった団体があったため。								
期間	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	①3,184人	H28年度目標	H28実績										
平成11年度～	0.39人	0人	②13団体	100%	85%										
	3,344千円	0人	③	H29年度目標											
スポーツ振興課	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	スポーツクラブの周知や魅力を高め、会員数を維持していくことを目標とする。	H28年度に改善した点	無	無		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	0	0	①会員数	会員数維持率 (今年度会員数÷前年度会員数×100)									
	総合型地域スポーツクラブ支援事業	根拠法令	H28予算現額	H28決算額(見込み)	②参加者数										
		スポーツ基本法	0	0	③種目別活動数										
		事業の目的及び具体的な内容	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	実績	H27年度目標	H27実績	H28目標値が未達成の理由・分析							
		所沢市総合型地域スポーツクラブの活動支援を行うことで、クラブの拡充による住民自治活動の推進やスポーツ人口の拡大など、生涯継続していくことができるスポーツ活動の振興に寄与するため。	0.07人	0人	100%	98%	新規の入会数よりも会員の高齢化により退会する人数が多かったため。								
期間	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	①1,167人	H28年度目標	H28実績										
平成12年度～	0.04人	0人	②34,827人	100%	97%										
	343千円	0人	③15団体	H29年度目標											
スポーツ振興課	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		S	スポーツ大賞を格式あるものとするため、受賞者をはじめ、より多くの市民が関心を持つように、参加者数を目標とした。	H28年度に改善した点	無	無		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	119	133	①候補者推薦件数	表彰式参加者数 (参加者数÷前年度参加者数×100)									
	スポーツ大賞表彰式開催事業	根拠法令	H28予算現額	H28決算額(見込み)	②										
		所沢市スポーツ大賞設置及び表彰要綱	119	105	③										
		事業の目的及び具体的な内容	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	実績	H27年度目標	H27実績	H28目標値が未達成の理由・分析							
		スポーツ界で優秀な成績を収めたもの及びスポーツの振興に寄与したものを顕彰することで、市民のスポーツ活動への参加意欲を喚起することを目的とする。	0.62人	0人	100%	116%	目標達成済								
期間	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	①57人	H28年度目標	H28実績										
昭和47年度～	0.65人	0人	②	100%	109%										
	5,574千円	0人	③	H29年度目標											
スポーツ振興課	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		C	急激に進む高齢社会をむかえ、いつまでも元気で、豊かな生活を送ることが求められている。こうした状況の中で、本健康体操を作り、地域への推進を図ってきた。各地区で親しまれ、健康体操としての効果は上がってきてはいるとは思いますが、周知されていない市民に今後も伝わるよう活動していきたい。	H28年度に改善した点	無	有		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	309	309	①推進事業開催回数	所沢健康体操の普及目標									
	健康体操推進事業	根拠法令	H28予算現額	H28決算額(見込み)	②事業参加者数										
		スポーツ基本法	0	0	③										
		事業の目的及び具体的な内容	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	実績	H27年度目標	H27実績	H28目標値が未達成の理由・分析							
		誰もができる市独自の健康体操を作り、主に高齢者を対象に地域の自治会・町内会館で地域の方の協力によって広めていくことで「健康寿命」を延ばし、健康で元気な地域社会を実現する。①体操普及への協力者(協力団体)に趣旨説明を行う。②市独自の健康体操「とこちゃん体操」を公民館などで行い、協力を依頼する。③地区連合会・学校開放等で体験事業を行う。	0.40人	0人	100,000人	37,245人	現在、健康体操推進事業の主な対象者を高齢者としており、若年層を対象とした事業は少ないため、目標値に達していないと考える。今後は若年層も対象とした事業の拡充も視野に入れ、事業内容を検討していく								
期間	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	①926回	H28年度目標	H28実績										
平成19年度～	0.30人	0人	②32,312人	100,000人	32,312人										
	2,573千円	0人	③	H29年度目標											